

御前崎市の遺跡

【主要遺跡】

①	新野氏墓地	中世	墓地	新野宮田
	伝新野左馬助親矩の墓。中世墓地と推測される。			
②	天ヶ谷古墳	古墳	古墳	新野中西
	御前崎市最大の大型円墳（高さ5.2m、墓底径36.7m）。			
③	中西横穴群	古墳	横穴墓	新野中西
	新野川流域を代表する横穴群（3群10墓）。			
④	合戸村中遺跡	戦国	埋蔵銭出土地	合戸村中
	北宋銭を主体とし、本邦初見の「至元通寶」を含む大量埋蔵銭出土地。			
⑤	八幡平城跡	中世・戦国	城館	新野有ヶ谷～篠ヶ谷
	今川系新野氏関連の城跡を戦国時代に武田氏が改修か。			
⑥	幡室遺跡	弥生～奈良・鎌倉	集落跡	新野大明神
	新野川流域を代表する大規模集落跡。 古代においては、新野川流域の中核であったと推測される。			
⑦	西原遺跡	縄文	遺物散布地	上朝比奈奥原
	御前崎市最古の縄文時代早期の異形局部磨製石器（トロトロ石器）出土地。			
⑧	山ヶ谷古墳	古墳	古墳	上朝比奈山ヶ谷
	静岡県内で3点しか出土していない、古墳時代の馬具である三環鈴が出土した古墳。			
⑨	小泉遺跡	縄文～鎌倉	集落跡	上朝比奈大代上・大代下
	市内唯一の縄文時代の低湿地集落。 縄文時代晩期前半の住居跡が3軒発見されている。			
⑩	横舟西之谷遺跡	中世～戦国	埋蔵銭出土地	上朝比奈茶屋前
	後漢の五銖銭から琉球の大世通寶にいたる古銭15種が約160貫（600kg）出土した大量埋蔵銭出土地。			
⑪	朝夷氏墓地	平安～江戸	墓地	上朝比奈宮ヶ谷
	伝朝夷三郎義秀の墓。12世紀～16世紀の歳骨器が出土。 平安～江戸時代にかけての墓地と推測される。			
⑫	朝比奈城山	中世～戦国	城館	下朝比奈杉山
	北麓には伝首根屋敷跡存在しており、 戦国武将である曾根孫大夫長一の話城と伝えられている。			
⑬	南谷遺跡	弥生～中世	集落跡	下朝比奈誰政・南谷
	弥生～古墳時代前期の拠点集落。 弥生時代住居跡が10軒発見され、土器・木製品・石器等が多量に出土。			
⑭	比木城山	中世～戦国	城館	比木多良ヶ谷・別所
	中世期の建物跡が発見された。 比木氏の城館跡を戦国時代に武田氏あるいは徳川氏が改修か。			
⑮	薩田ヶ谷横穴群	古墳	横穴墓	宮内薩田ヶ谷
	学史的遺跡。6基からなる箴川流域を代表する横穴群（市指定史跡）。			
⑯	大陣原経塚	室町	経塚	比木勝佐谷
	市内唯一の「金銅製六角形経筒」が出土。 中世の信仰活動を顕著に示す古道として注目される。			
⑰	梶ヶ谷横穴群	古墳	横穴墓	比木西ノ谷
	市内唯一の組合式箱式石棺出土。 馬具や武器など貴重な金属製品が多量に出土。			
⑱	星の糞遺跡	縄文	集落跡	白羽鳥居原
	白羽地区を代表する縄文時代集落跡。 大量の縄文前期の土器や石器が出土（市指定史跡）。			
⑲	上ノ城遺跡	古代・中世	官牧	白羽上ノ城
	白羽官牧の比定地。			
⑳	新谷遺跡	弥生	集落跡	白羽新谷
	弥生時代後期初頭の土器や住居跡が発見された遺跡で、 白羽地区の弥生時代遺跡として注目される。			



縄文時代

縄文時代は、年代でいうと今から約16,500年前から約3,000年前、日本列島で発展した時代です。地域によって生活の様子は違いますが、豊かな自然の恵みを受け、狩猟採集を基盤とし、土器を多様に活用した生活をしました。

弥生時代

紀元前10世紀ころから3世紀ころまでは弥生時代と呼ばれます。時代区分名称は、この時期に特徴的に見られた弥生式土器に由来します。稲作を中心とする農耕社会が成立し、九州北部から日本列島各地へ急速に広まりました。農耕社会の成立によって地域集団が形成されました。農耕社会の発展とともに地域集団は大型化していき、その集団の中で身分の差が出始めたのも弥生時代の特徴です。

御前崎市の遺跡